

札幌市いじめの防止等のための基本的な方針（改定案）

キッズコメント意見集 概要版

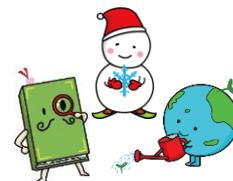
～いただいたご意見と札幌市教育委員会の考え方・児童生徒の皆さんへ～

札幌市では、皆さんが安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるようにするために、「札幌市いじめの防止等のための基本的な方針」の案を作り、令和6年3月7日から令和6年4月5日までの期間、皆さんから意見を募集しました。

この資料は、皆さんからいただいた意見の主な内容と、その意見に対する札幌市教育委員会の考え方をまとめた「キッズコメント意見集」の中からいくつかをまとめたものです。

今回、皆さんからたくさんの意見をいただきました。皆さんが日頃思っていることを声に出して届けてくれた意見一つ一つから、皆さんのいじめに立ち向かう真剣な気持ちが伝わってきました。皆さんの意見を受け止め、改めて方針に取り入れました。

札幌市の教育が、皆さんにとってよりよいものになるように、これからも皆さんの声を大切にしながら様々な取組を進めていきます。



【意見数】合計1,151人から1,219件のご意見をいただきました。

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	不明	合計
人数	12	81	114	173	232	157	155	163	55	2	1	4	2	1,151
件数	13	85	115	186	249	171	164	169	58	2	1	4	2	1,219

※フォーム登録1回につき一人と数えています。複数ご意見をいただいた場合はその分意見数を計上しています。

多く寄せられた意見	
皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
先生がしっかりと教室を見て、適切な注意を行うべき。 (類似意見6件)	いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりのために、先生などが複数の目でいじめを見逃さないようにし、組織的に対応することとしています。また、皆さんがいじめを見たときには、周りの大人に知らせてください。
一人一人が、自分がやられて嫌なことはしないという意識を持ち、いじめをなく	札幌市では、お互いに個性や多様性を認め合い、支えはげまし合う「人間尊重の教育」を大切にしています。学校では何がいじめにあたるかを確認し、いじめられている人の

<p>そうという意識<small>いしき</small>をすること が大切<small>たいせつ</small>だと思<small>おも</small>う。 (類似意見<small>るいじ いけん けん</small>11件)</p>	<p>気持ちを理解<small>りかい</small>できるよう取り組<small>とく</small>んでいきます。</p>
---	---

<p>方針<small>ほうしん</small>に取り入<small>と</small>れた皆<small>みな</small>さんからの意見<small>いけん</small></p>	
<p>皆<small>みな</small>さんの意見<small>いけん</small></p>	<p>札幌市教育委員会<small>さっぽろし きょういく いいんかい</small>の考<small>かんが</small>え方<small>かた</small></p>
<p>「しない・させない・許<small>ゆる</small>さない」についての説明<small>せつめい</small>が少<small>すく</small>なくて、「許<small>ゆる</small>さない」というのはいじめをした人<small>ひと</small>を許<small>ゆる</small>さないのか、それとも、いじめという行為<small>こうい</small>自体<small>じたい</small>を許<small>ゆる</small>さないのか、どちらなのかがよくわからないので、もう少<small>すこ</small>し説明<small>せつめい</small>があるとわかりやすい。</p>	<p>「許<small>ゆる</small>さない」というのは、いじめという行為<small>こうい</small>を許<small>ゆる</small>さないことを示<small>しめ</small>しています。このようなビジョンを掲<small>かか</small>げることで、いじめを許<small>ゆる</small>さない雰囲気<small>ふんいき</small>を学校・家庭・地域<small>がっこう かない ちいき</small>総ぐるみで作ることを目指<small>めざ</small>しています。方針の3ページに「いじめという行為<small>こうい</small>は、人権侵害行為<small>じんけんしんがい</small>で許<small>ゆる</small>されるものではなく」と説明<small>せつめい</small>を加えました。</p>
<p>隠蔽<small>いんぺい</small>しようとする教師<small>きょうし</small>もいるので、子どもが信<small>しん</small>頼<small>らい</small>できる大人<small>おとな</small>になるべきだと思<small>おも</small>う。 (類似意見<small>るいじ いけん けん</small>25件)</p>	<p>皆<small>みな</small>さんから信<small>しん</small>頼<small>らい</small>されるよう、方針の19ページに「全ての教職員<small>きょうしよくいん</small>が『いじめは絶対に許<small>ゆる</small>されない』、『いじめられた児童生徒<small>じどう せいと</small>や情報<small>じょうほう</small>を提供<small>ていきょう</small>してくれた児童生徒<small>じどう せいと</small>を守る』という姿勢<small>しせい</small>を共有<small>きょうゆう</small>し、児童生徒<small>じどう せいと</small>が教職員<small>きょうしよくいん</small>を信<small>しん</small>頼<small>らい</small>し、見守<small>みまも</small>られているという安心感<small>あんしんかん</small>をもって学校生活<small>がっこうせいかつ</small>を送ることができるようにする。」という文<small>ぶん</small>を追記<small>ついき</small>しました。</p>
<p>相談<small>そうだん</small>しやすい環境<small>かんきょう</small>とは、どのようなことなのか、具体的に方針<small>ほうしん</small>に記述<small>きじゆつ</small>してほしい。 (類似意見<small>るいじ いけん けん</small>12件)</p>	<p>子どもが安心<small>あんしん</small>して相談<small>そうだん</small>しやすい環境<small>かんきょう</small>について、方針の22ページに「自分<small>じぶん</small>から相談<small>そうだん</small>できない児童生徒<small>じどう せいと</small>もいることから、教職員<small>きょうしよくいん</small>からの声かけ<small>こゑ</small>に加え、子どもが相談<small>そうだん</small>しやすい信<small>しん</small>頼<small>らい</small>できる大人<small>おとな</small>に相談<small>そうだん</small>できることや、様々<small>さまざま</small>な相談窓<small>そうだんまどぐち</small>口があることについて、繰<small>く</small>り返<small>かえ</small>し周知<small>しゅうち</small>に努<small>つと</small>める。」という文<small>ぶん</small>を追記<small>ついき</small>しました。</p>